



Technical Note 04-04

4D View Helper-Part II

By Melinda Gallo (routines written by Dave Batton)
Technical Note 04-04

(原題: 4D View Helper Source Code, Part II)

概要

4D View Helper は、4D View エリアに配列やレコードを表示する際に便利なコンポーネントです。以前の Tech Note では、このコンポーネントの使用例をサンプルデータベースとともに紹介しました。今回は、各ルーチンの動作を紹介します。

4D View Helper コマンドリスト

PV_GetSelectedRow

PV_GetSelectedRow (PlugInArea) -> Number of the first selected row

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア

後述の PV_GetSelectedRows をコールし、配列 PV_SelectedRowsArray の選択された行の数を調べます。選択された行があれば最初の行の番号を、なければ 0 を返します。

PV_GetSelectedRows

PV_GetSelectedRows (PlugInArea; ptrLongintArray)

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア
ptrLongintArray	ポインタ	選択行番号を受け取る配列へのポインタ

PV GET SELECTED RANGES LIST コマンドをコールし、PlugInArea の選択された行を調べ、ポインタで渡された配列に選択された行の番号を要素として代入します。選択された行がなければ配列の要素数は 0 となります。

PV_SetColumnWidths

PV_SetColumnWidths (PtrPlugInArea; Width {; Width2;...; WidthN})

引数	タイプ	説明
PtrPlugInArea	ポインタ	4D View エリアへのポインタ
Width	倍長整数	列の幅（パーセントあるいはピクセル）

列の幅をまとめて設定することができます。Width の合計値が 100 であればパーセント表記であるとみなされます。Width は 0 列の数だけ渡し、非表示列には 0 を指定します。PV SET COLUMNS WIDTH はパーセント設定ができないために作成しました。

コードは、GET OBJECT RECT で 4D View エリアの幅を調べ、スクロールバーの幅 (15) を差し引いています。また、変更後に選択レコードを再現するためにカレントセクションを記憶しています。幅の変更には PV SET COLUMNS WIDTH をコールしており、このときパーセントをピクセルに変換し、設定値が 0 の列は PV EXECUTE COMMAND で隠して、最後に PV_SetSelectedRows でセクションを再現しています。

PV_SetFont

PV_SetFont (PlugInArea; FontName; FontSize; FontStyle)

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア
FontName	テキスト	フォント名
FontSize	倍長整数	フォントサイズ（ポイント）
FontStyle	倍長整数	フォントスタイル

PV SET STYLE PROPERTY をコールしてエリアのデフォルトフォント（デフォルトスタイルシートの「セル」）を設定します。空の文字列をフォント名に渡した場合、システムフォントが使用されます。

PV_SetRowHeight

PV_SetRowHeight (PlugInArea; Height)

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア
Height	テキスト	行の高さ

PV Get document property で行の数を調べ、行があれば、高さを Height に設定します。

注意： 期待の結果が得られない場合があります。

PV_SetSelectedRow

PV_SetSelectedRow (PlugInArea; Row)

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア
Row	倍長整数	選択する行の番号

PV SELECT ROWS で行をひとつ選択します。Row に 0 を渡すとすべての行の選択が解除されます。0 を渡された場合は PV SET AREA PROPERTY で pv select mode を選択不可モードにすることによって選択を解除し、後に再び pv select mode を元に戻しています。処理が完了するまで、コールバックメソッドは PV ON EVENT コマンドで一時的に非アクティブ化されます。

PV_SetSelectedRows

PV_SetSelectedRows (PlugInArea; ptrLongintArray)

引数	タイプ	説明
PlugInArea	倍長整数	4D View エリア
PtrLongintArray	ポインタ	選択する行の番号の配列へのポインタ

配列 PtrLongintArray で渡された行をすべて選択します。配列に要素がなければ、前述の PV_SetSelectedRow メソッドをコールしてすべての選択を解除します。実行には、まず PV Get document property で列の数を調べ、上下左右セルの列番号を 4 つのローカル変数に代入し、PV SELECT RANGES LIST コマンドでセレクションを更新しています。